

1 社会・治安情勢

ザンビアの主要輸出品である銅の国際価格の下落傾向にあり、ここ最近では鉱山労働者の失業者が相次いでいる。貧困率は依然として高く、特に首都ルサカ市、リビングストーン市観光地区、コッパーベルト州の主要都市等を中心に失業者やエイズ孤児等が溢れており、貧困に起因する犯罪が後を絶たない。

また、ここ最近、深夜の計画停電の時間帯を狙った犯罪が多発しており、当局の治安維持能力の低さがこれを助長している。これに加え、周辺国の紛争発生時に難民と共に流入した軍用の銃器が依然として多く出回っているため、犯罪の手口が凶悪化、組織化している。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) 在留邦人が多数居住し比較的安全とされている地域においても昼夜を問わず銃器を使用した複数犯による住居侵入強盗、車両強盗、路上強盗が頻発している状況であり、特に、ここ最近の深夜の時間帯の計画停電における犯罪が多発しており、在留邦人がいつ被害に遭ってもおかしくない状況である。

在留邦人が居住する地域を取り囲むようにコンパウンド（貧困層地区）が存在し、犯罪の温床となっており、若年層の新規雇用低迷、インフレ、生活インフラ整備の不足等に対し、多くの人々が不満を抱えており、これが何らかのきっかけで抗議や暴動につながる可能性も排除されない。

(2) 邦人被害事案

ア 7月24日、ルサカ市内のホテルに宿泊していたテレビ会社の撮影クルーの一人が、椅子の横に鞆をおいて食事をしていたところ、何者かがその鞆を持ち去り、中にあったパスポートと現金が被害にあった。

その後、パスポートのみが近くの駐車場で発見された。

イ 7月26日、ルサカ市内のホテルに宿泊していた日系企業の出張者が、朝食時、椅子にバックを置いて、食事を取りに行ったところ、何者かがバックを持ち去り、中にあったパスポート、現金、キャッシュカード、携帯電話が被害にあった。

(3) 邦人以外の被害事案

ア 住居侵入強盗

7月アメリカ人国籍の住居に賊が侵入、幸い自宅内の侵入には至らなかったものの、屋外にあった自転車が盗まれた。

イ 商店侵入強盗

ウ 車両盗難

(ア) 8月12日、銀行利用後、インターナショナル校に駐車していたところ、車上荒らしに遭う。このほか、ルサカ全域では、急増している。

エ 強姦

8月15日深夜、ローマ地区からアイベックス地区の自宅に数名で帰宅したところ、後をつけていた車にガンポイントで襲撃され金品を奪われた。この際、アメリカ国籍の女性が賊に強姦される被害が発生。同様の事案が先月末にも発生している。

3 テロ・爆弾事件発生状況

当該事件の発生は認知していない。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

関連情報なし

5 日本企業の安全に関する諸問題

関連情報なし